

2001年10月31日

このファイルには、以下の項目に関する最新情報が記載されています。

HPノートブック コンピュータとWindowsに関する参照情報

注意事項

- スタンバイ モードでバッテリーを交換する
- ドッキング時にディスプレイ設定を変更する
- ワイヤレスLANを使用する
- HP プレゼンテーション レディを使用する
- DVDムービーを再生する
- ディスプレイを切り替える
- MS-DOSモードで実行する

Windows 98

- トラックポイントドライバのインストール
- USBケーブル接続のフロッピー ドライブを使用する
- プラグイン モジュールを交換する
- 赤外線ポートを使う
- ドッキング状態でATAのPCカードを使用する
- LAN接続時のドッキングおよびドッキング解除
- HP製品以外のUSBフロッピー ドライブを使用する

Windows 2000

- Tour of Windows 2000を実行する
- ドッキング後にディスプレイを設定を行う
- 外部モニタのリフレッシュ レートを変更する
- ネットワークから起動する
- HP One-Touchを再インストールする

Windows XP

- 外部キーボードを使用する
- ワイヤレスLAN接続を使用する
- インターネット プロキシ サーバを使用する

Windows NT 4.0

- ワイヤレスLANおよび赤外線ポートはサポートされていません。
- Windows NTで作業を修復する
- 内蔵LANアダプタをセットアップする
- PCカードを使用する
- VirusScanおよびCard Executiveをインストールする
- キーボードとドライバを適合させる
- メディア プレーヤを使用する
- フロッピー ディスク ドライブなしでVirusScanを使用する
- Mediamatics DVDプレーヤ ソフトウェアをインストールする
- ソフトウェアのインストール中にDr. Watsonエラーが発生する

HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために

- 取り扱い上の注意
- 一般的な使用の注意

参照情報

- * マニュアル『スタートアップガイド』には、ノートブック コンピュータの紹介と基本的な使い方が記載されています。トラブルシューティング情報もあります。
- * オンライン マニュアル『リファレンス ガイド』には、オペレーティング システムのセットアップ、アクセサリの取り付けと接続、コンピュータの管理とアップグレードを行う方法が記載されています ([スタート]-[プログラム]-[HPライブラリ])。
- * コンピュータ付属のMicrosoft Windowsマニュアルには、Windowsオペレーティング システムの標準機能の使い方が記載されています。
- * BIOSのアップデートその他の技術情報については、以下のHP Webサイトをご覧ください。
<http://www.jpn.hp.com/go/notebook>

注意事項

データの消失など重大な問題が発生する可能性のある状況を避けるために、以下の点に注意してください。

データの読み書きをしているときは、データ記憶用のPCカードを取り外さないでください。データが壊れる恐れがあります。

アプリケーションの中には、作業ファイルを開いたままで、データに変更があるたびにファイルを更新するものがあります。リムーバブル ディスク上 (フロッピー ディスクまたはPCカードなど) にかいたままのファイルがあると、ファイルが破損しやすい場合があるので、そのようなアプリケーションではリムーバブル ディスク上のファイルは使用せず、開くのはハード ドライブ上のファイルのみにしてください。

コンピュータをサスペンド、ドッキング、またはドッキング解除する前に、必ずデータを保存し、使用中のアプリケーションをすべて閉じてください。電源管理機能のないアプリケーション、オーディオ/ビデオ アプリケーション、PCカードやCD-ROMなどのI/Oデバイスを使用するアプリケーションの場合は特に注意してください。

スタンバイ モードでバッテリーを交換する

通常、コンピュータがスタンバイ モードの場合は、メインバッテリーの交換ができます。バッテリー交換中は、内部バックアップ バッテリーが電源になります。ただし、電源設定によっては、スタンバイ モードでバッテリーを交換しないでください。

電源設定によっては、スタンバイ モードでの電力消費が増大する場合があります。設定が、スタンバイ中の電力消費を増大する設定に変更されている場合は、バッテリー交換の前にコンピュータをシャットダウンするか、ACアダプタを接続してください。そうしないと、バックアップ バッテリーが消耗した場合に、未保存のデータが失われるおそれがあります。

例えば、Windows 2000の電源設定には、内蔵LANアダプタによって、スタンバイモードから電源を入れるオプションがあります。このオプションは、スタンバイモードでの電力消費を増大させるので、スタンバイモードではバッテリーの交換をしないでください。

ドッキング時にディスプレイ設定を変更する

コンピュータを拡張ベースにドッキングした際に、Windowsはシステムに接続されたデバイスを自動的に認識します。ただし、ディスプレイ設定はドッキング時の設定に自動的に変更されません。このことがわかるのは、内蔵ディスプレイと異なる解像度の外部モニタを接続している場合です。ドッキング時のディスプレイ設定に切り替えるには、青いスリープボタンを押してサスペンドしてから、もう一度同じボタンを押してレジュームします。または、コンピュータをシャットダウンしてから再起動します。

ワイヤレスLANを使用する

ワイヤレスLANの設定に関しては、以下の記述を参考にしてください。

- * コンピュータ間でアドホック接続を確立するには、接続するすべてのコンピュータで共通のチャンネルを選択する必要があります。選択するチャンネルは、近くのアksesポイントが使用するチャンネルまたはそれに隣接するチャンネルでなく、近くのアksesポイントが使用するのと異なるSSIDを使ったものでなければなりません。
- * 暗号化を設定するには、暗号化キーを手動で入力しなければならない場合があります。キーを知っているかこれから作成する場合、グループ内のすべてのワイヤレス製品で同じキーを使用してください。

英数字のパスフレーズしか知らない場合、キー変換プログラムを実行して、使用する暗号化キーを決めてください。[スタート]、[プログラム]、[HP Wireless LAN]、[Encryption Key Converter]の順にクリックします。パスフレーズがLucent/Agereベースのワイヤレス製品向けに作成されている場合、キーを求める際に該当する変換オプションを選択する必要があります。その他のワイヤレス製品については、もう一方の変換オプションを使用します。このキーはグループ内のすべての製品に使用する必要があります。例えば、HP F2135およびF2136アクセサリはLucent/Agereベースの製品です。

- * アクセスポイント経由でワイヤレスネットワークに接続する場合、コンピュータがネットワークリソースを使用できるようにする必要があります。ログオン時にコンピュータがネットワークリソースに接続できない場合、コンピュータにIPアドレスが割り当てられていない可能性があります。IPアドレスをチェックするには、[スタート]、[ファイル名を指定して実行]をクリックし、winipcfg(Windows 98の場合)またはipconfig(Windows 2000の場合)と入力します。ワイヤレス接続のサブネットマスクが255.255.000.000の場合、ネットワークサーバがコンピュータにIPアドレスを割り当てていないので、ネットワークIPアドレスを解放して更新する必要があります。これについては下記のreadmeファイルを参照してください。それでも問題が解決しない場合、アクセスポイントをリブートしてみてください。
- * 他のアクセスポイントに接続するためにSSIDを別の値に変更する場合、またはインフラストラクチャモードからアドホックモードに変更する場合、先にネットワークIPアドレスを解放して更新する必要があります。下記のreadmeファイルを参照してください。

Windows XPをご使用の場合、ワイヤレスLANについての詳細は、後述のWindows XPに関するセクションを参照してください。

ワイヤレスLAN接続の設定や使用に関して問題が生じた場合、c:\hp\Drivers\Wireless\Readme.txt 中のワイヤレスLANに関する記述を参照してください。

HP プレゼンテーション レディを使用する

HP プレゼンテーション レディと外部モニタを連動させる場合は、モニタがプラグ&プレイ対応かどうかをチェックしてください。プラグ&プレイ対応でない場合は、まず使用するビデオ設定を決定し、次に[コントロール パネル]の[画面]を開き、ビデオ設定をサポートするモニタをセットアップします。この手順を行わないと、HP プレゼンテーション レディで指定したビデオ設定がアクティブになりません。

DVDムービーを再生する

- * DVDプレーヤでムービーを再生するには、DVDムービーに記録された居住地域用の地域コードをDVDプレーヤで設定しておく必要があります。DVDムービーをドライブに挿入すると、地域コードの検出が行われ、当該地域コードを設定する画面が表示されます。4回まではコードを入力することができますが、それ以上失敗すると、ドライブは恒久的にロックされます。間違ったコードでDVDドライブがロックされてしまってもドライブの交換は保証対象外となり、交換または修理費用はお客様のご負担となります。
- * バッテリー電源でDVDムービーを再生するときは、プロセッサがムービー再生に最適な速度で動作していることを確認してください。Windows 98または2000の場合、[SpeedStep]を[Max Performance]に設定します。Windows XPの場合、コントロール パネルの[電源オプション]で[ポータブル/ラップトップ]電源設定を選択します。

ディスプレイを切り替える

[Fn] + [F5] を押して、内蔵ディスプレイと外部ディスプレイを切り替えることができます。ただし、OpenGLなどの画像集約的なアプリケーションの実行中に切り替えることは避けてください。ディスプレイの切り替えが、ビデオの破損やアプリケーションのシャットダウンの原因になることがあります。

MS-DOSモードで実行する

本機をMS-DOSモードで起動する場合、電源管理機能はサポートされません。サスペンドに移行しないように、BIOS Setupユーティリティの電源管理設定を無効にしてください。サスペンドすると、中断が生じ、データが消失するおそれがあります。

Windows 98

トラックポイントドライバのインストール

デスクトップにあるトラックポイントドライバをクリックして
ドライバをインストールする事により、より高度なコントロールや
操作が可能になります。

USBケーブル接続のフロッピー ドライブを使用する

USBフロッピー ケーブルを使用してフロッピー ドライブをコンピュータに取り付けると、
Windows 98の場合、「ドライブD」など、ドライブCよりも後のドライブが割り当てられます。
WindowsでドライブAまたはBが表示されても、これらのドライブ名でフロッピー ドライブにア
クセスすることはできません。USBケーブルで接続したフロッピー ドライブにアクセスするに
は、ドライブDあるいはその他の、割り当てられたドライブ名を使用しなければなりません。せ
ん。ただし、フロッピー ドライブを拡張ベースに挿入した場合は、「ドライブA」でアクセスで
きます。

プラグイン モジュールを交換する

Windows 98では、スタンバイ モード中に、プラグイン モジュールを拡張ベースから取り外し
たり取り付けたりしないでください。スタンバイ モードの場合は、電力モードランプが点灯しま
す。BayManagerホットスワップ ソフトウェアをインストールしている場合は、コンピュータが立
ち上がっている状態でタスクバーの [BayManager] アイコンをクリックすれば、モジュールの交換
ができます。スタンバイ モードで交換すると、コンピュータが応答しなくなる可能性があります。
モジュールの交換は、コンピュータをシャットダウンしている時にも可能です。

赤外線ポートを使う

Windows 98で赤外線ポートを使用する場合は、次の推奨項目を実施してください。

- * BIOS Setupで赤外線ポートを有効にした後、c:\hp\Drivers\Ir\Readme.txtで記載されている説明
に従ってください。
- * データの送受信で問題が発生した場合は、c:\hp\Drivers\Ir\Readme.txtで記載されている赤外線
ポートの使用に関する情報を参照してください。
- * Recovery CDを使ってコンピュータを工場出荷設定にもどす必要がある場合は、BIOS Setupで赤
外線ポートを無効にしてから実施してください。赤外線ポートが有効の状態では、システムが
正常に再起動しない場合があります。

ドッキング状態でATAのPCカードを使用する

本機に、ATAのPCカードを装着した状態でドッキングすると問題が生じる場合は、BayManager
ホットスワップ ソフトウェアをインストールしてみてください。BayManagerは、ATA大容量記
憶カードを使用する際に生じるロックアップや、再起動や、検出の問題を防止する機能を備えて
います。

LAN接続時のドッキングおよびドッキング解除

コンピュータがLANポートを装備している場合、ドッキングあるいはドッキング解除の後にWindows 98が構成内容を更新するのに時間がかかることがあります。この間、ポインタや他のデバイスが正常に動作しないことがあります。システムの準備が整うまで、1分あるいはそれ以上の時間を要する場合があります。

HP製品以外のUSBフロッピー ドライブを使用する

HP製品以外のUSBフロッピー ドライブを接続している場合、コンピュータの起動時にロックアップするときは、USBドライブを取り外して再起動を試み、その後再び接続します。それでも問題が解決しない場合は、BIOS Setupユーティリティで [Legacy USB Support] の設定を無効にします。

Windows 2000

Windows 2000ツアーを実行する

[はじめに] ウィンドウで、Windows 2000の紹介ツアーを開始するために、[Windowsについて] をクリックします。CDを挿入するように表示されたら [キャンセル] をクリックし、c:\¥tourと入力してツアーを開始します。

ドッキング後にディスプレイを設定を行う

コンピュータをはじめて拡張ベースにドッキングした際に、ディスプレイ表示が640 x 480の解像度になり、表示が小さく見える場合があります。このような場合は、[デスクトップ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。[設定]タブで、画面の領域を1024 x 768に設定します。

外部モニタのリフレッシュ レートを変更する

外部モニタをコンピュータや拡張ベースに接続して使用しているときに画像にゆらぎが発生した場合、リフレッシュ レートを変更してこれを修正することができます。外部モニタのリフレッシュ レートを変更するには、モニタを接続した状態で次の手順を行います。

1. Windows 2000で、[スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順にクリックし、[画面] をダブルクリックします。
2. [設定] タブで、[詳細] をクリックします。
3. [ATIディスプレイ] タブで、[モニタ] をクリックし、リフレッシュ設定を変更します。

ネットワークから起動する

コンピュータがLANポートを内蔵している場合、BIOS Setupユーティリティで [Internal NIC] を第一の起動デバイスに設定すると、ネットワークから起動できます。ただし、この起動プロセス中にコンピュータが不意に再起動する場合があります。これを防ぐため、再起動の前にコンピュータを完全にシャットダウンしてください。

HP One-Touchを再インストールする

本機には、HP One-Touchソフトウェアがプリインストールされています。HP One-Touchソフトウェアの再インストール、あるいはアップデートの必要がある場合は、インストールを適切に完了するために、管理者としてログインする必要があります。

Windows XP

外部キーボードを使用する

Windows XPをご使用の場合、外部PS/2またはUSBキーボードでの [Fn] ホットキーの使用はサポートされていません。かわりにソフトウェアを使用すればすべてのホットキー機能を使用できます。

ワイヤレスLAN接続を使用する

Windows XPでワイヤレス ラジオの電源をオンまたはオフにする場合、ワイヤレス オン・オフ ボタンを押すか、次の方法を使用することができます。

- * ラジオの電源をオフにするには、タスクバーのワイヤレス接続アイコンを右クリックし、[無効]を選択します。
- * ラジオの電源をオンにするには、[スタート]、[コントロールパネル]、[ネットワークとインターネット接続]、[ネットワーク接続]の順にクリックして、ワイヤレスネットワーク接続アイコンをダブルクリックします。

Windows XPの場合、タスクバーのワイヤレス接続アイコンでは電波の強度が正確に表示されない場合があります。このアイコンでシグナルの強さが常に最大として表示される場合、[コントロールパネル] で実際の電波強度をチェックすることができます。最新の802.11ドライバパッケージを含む製品アップデートについては、HP Webサイト www.hp.com/go/support をご覧ください。

Windows XPの場合、パスフレーズや16進キーによるワイヤレス暗号化のセットアップで問題が起こることはあまりなく、このため、暗号化キー コンバータは[スタート] メニューにありません。キー コンバータを使用する場合は、`c:\hp\drivers\wireless\acawlwp.exe` を実行してください。

インターネット プロキシ サーバを使用する

インターネット接続のセットアップでLANプロキシサーバを使用する場合、[ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない] オプションを有効にする必要があります。設定を行わないと、ローカルコンピュータやネットワーク上のリソースへのアクセスに時間がかかる場合があります。

Windows NT 4.0

ワイヤレスLANおよび赤外線接続はサポートされていません。

Windows NT 4.0では、モデルによっては提供されている内蔵ワイヤレスLANおよび赤外線接続がサポートされていません。

Windows NTで作業を修復する

Windows NTで、新たなサービス、ハードウェア デバイス、またはアプリケーションをインストールする場合は、Rcovery CDからService Packを再インストールする必要があります。これにより、Service Packコンポーネントと他の関連するコンポーネントが正しく動作するようになります。Service Packを再インストールする際、すでにインストールされているアプリケーション、設定値、またはドライバが上書されることはありません。

例えば、Windowsネットワーク サポートをインストールする場合、他のコンポーネントが正しく動作するようにService Packを再インストールする必要があります。

最新のService Packは、Rcovery CDのディレクトリ¥NT4_SPXにあります。Xはお使いのコンピュータのService Pack番号を示します。再インストールの際は、以下の手順に従ってください。

1. ACアダプタを接続してコンピュータの電源を入れます。
2. [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。
3. CD-ROMドライブから、¥NT4_SPX¥SpXi386.exeを実行します (XはService Pack番号を示します)。

内蔵LANアダプタをセットアップする

LANアダプタが内蔵されている場合は、次の手順に従って適切なセットアップを行います。この手順に従わないと、コンピュータがサスペンドしたりハイバネートモードに入った場合、ネットワーク接続ができなくなる可能性があります。

1. [コントロールパネル] の [ネットワーク] を開いてネットワーク サポートをインストールします。画面が表示されたら [リストから選択]、[ディスク使用] をクリックし、c:¥hp¥drivers¥lanを入力した後、[3Com Ethernetアダプタ] を選択します。NTファイルの場所を入力するよう要求された場合は、最初にc:¥i386と入力し、それからc:¥hp¥drivers¥lanと入力します。

2. ACアダプタを接続し、Recovery CDからWindows NT Service Packをインストールします。[スタート]-[ファイル名を指定して実行]-[参照] をクリックし、Recovery CDの¥NT4_SPX¥SpXi386.exeを選択します (X はService Pack番号を示します)。
3. [スタート]、[ファイル名を指定して実行] をクリックし、c:¥hp¥drivers¥lan¥tdiinst.exeを入力します。電源管理機能がインストールされます。

PCカードを使用する

Point-enabledカードおよびその他のカードを使用すると、バッテリー残量が少なくなったとき、システムがハイバネート モードに移行できないことがあります。ハイバネート モードに移行できないと、バッテリーが消耗して修復不能なシャットダウンに至ることもあります (この場合データは失われます)。上記のようなカードを使用中にこのようなことが起こるのを防ぐため、バッテリー残量が低レベルのときはシステムの状態に注意を払い、充電装置に接続するかシステムを強制終了してください。コンピュータにAPMがインストールされている場合、バッテリー残量が少ないとシステムが警告を發します。この場合はデータを全て保存してください。

VirusScanおよびCard Executiveをインストールする

McAfee VirusScanとCard Executiveの両方をインストールする場合は、McAfee VirusScanを先にインストールしてください。

Card Executiveがすでにインストールされている場合は、VirusScanをインストールする前に、前述のWindows NT Service Packをインストールしてください。Card Executiveの後にService Packをインストールしないと、VirusScanのインストール中にエラーが発生する可能性があります。このようなエラーがすでに発生した場合は、まずService Packをインストールして、次にVirusScanをインストールしてください。

キーボードとドライバを適合させる

OSの言語がWindows NTキーボード ドライバの既定値となります。例えば、OSがフランス語の場合、実際に接続されているキーボードの種類に関わらず、フランス語がキーボード ドライバの既定値となります。OSの言語に対応した標準のキーボード以外のキーボード (例えばカナダ フランス語) がコンピュータに接続されていると、そのキーボードは正しく動作しません。

キーボードに対応した正しいドライバを選択するには、次の手順に従ってください。

1. [コントロール パネル] の [キーボード] をダブルクリックして [言語] タブを選択します。
2. 正しいキーボードの言語とレイアウトを選択します。

メディア プレーヤを使用する

メディア プレーヤがAVIファイルを正しく再生しない場合は、AVIファイルをMplay32.exeで開いてください。[スタート]-[ファイル名を指定して実行] をクリックし、mplay32と入力してから [OK] をクリックします。

フロッピー ディスク ドライブなしでVirusScanを使用する

VirusScanのオプションで、シャットダウン時にフロッピー ディスク ドライブをチェックするオプションは、有効にしないでください。有効にすると、フロッピー ディスク ドライブが取り付けられていない状態でコンピュータをシャットダウンした場合、シャットダウンが完了するのに数分かかったり、警告音が鳴ることがあります。このオプションを無効にするには、タスクバーの[VirusScan]アイコンをダブルクリックし、続いて[プロパティ]をクリックして[検出]タブを表示します。Windows NTでは、シャットダウン時にフロッピー ドライブをスキャンする選択をクリアします。

Mediamatics DVDプレーヤ ソフトウェアをインストールする

Mediamatics DVDソフトウェアのインストール中にIDEドライバについてのエラー メッセージが表示された場合は、以下の手順に従ってください。

1. [コントロール パネル] で [SCSIアダプタ] を開き、[ドライバ] タブを表示します。
2. [Intel ATAドライバ] をハイライトし、[削除] をクリックします。
3. [追加] - [ディスク使用] - [参照] の順にクリックします。次にc:\hp\Drivers\Piix4ディレクトリでPiixide.infを選択してPIIXIDEドライバをインストールします。

この手順でMediamatics DVDソフトウェアをインストールできます。

ソフトウェアのインストール中にDr. Watsonエラーが発生する

ソフトウェアのインストール時にDr. Watsonエラー メッセージが表示された場合は、メッセージを承認してインストールを続行します。Dr. Watsonユーティリティの詳細については、MicrosoftのWebサイト<http://www.microsoft.com>をご覧ください。

HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために

ここでは、HPノートブック コンピュータを長持ちさせるために、毎日の使用で注意すること、物理的な損傷やデータの消失を防止する方法について説明します。ハードディスク ドライブおよびその他の内部コンポーネントは精密部品なので、取り扱いや操作を誤ると損傷しやすい部分です。

取り扱い上の注意

- * 振動や衝撃を与えないでください。
 - HPコンピュータを携帯するときは、システムをサスペンドするかシャットダウンして、ハードディスクへの電力供給を止めてください。ハードディスクが稼動している状態で、万一コンピュータを落とした場合、たとえ低い場所から落としてもハードディスクが破損したり、データが消失したりする可能性があります。
 - 振動や衝撃から守るため、コンピュータはソフトケースに入れて携帯してください。

- コンピュータを置くときは、落としたり、ぶついたりしないように静かに置いてください。
- 激しい揺れのある場所で使用しないでください。
- * 本体装置周辺で十分な換気が行われるように注意し、キャリング ケースなどに入れる前には、サスペンドモードにするか、電源をオフにしてください。
- * ディスプレイ部分を持ち上げたり、ディスプレイをつかんで持ち運ばないでください。
- * 屋外では、雨または雪などの悪天候時や、温度や湿度が通常と極端に異なる場合は使用しないでください。

一般的な使用の注意

- * ディスプレイの輝度を見やすい範囲でなるべく低くしてください。バッテリーの持続時間をのばすことができます。
- * 作業したファイルは、フロッピー、テープ、またはネットワーク ドライブにコピーして、定期的にバックアップを行ってください。
- * ウィルス スキャン プログラム (自動的に起動するプログラムを推奨) を使用して、ファイルとオペレーティング システムを定期的に検査してください。また、「スキャンディスク」と「デフラグ」ユーティリティを使ったディスクの検査も行ってください。
- * ドッキングを解除する前に、コンピュータをシャット ダウンする必要がある場合があります。
 - Windows 98またはその他のプラグ&プレイ対応オペレーティング システムでは、ドッキングを解除する前にシャット ダウンする必要はありません。

HP ノートブック コンピュータの起動と終了方法の詳細については、付属マニュアルをお読みください。

- 以上 -